

研究課題			
地域における自然環境の管理保全主体に関する法社会学的研究			
2003年度	氏名	所属・資格	研究分担
代表者	榊澤 能生	法学部・教授	
共同研究者	牛山 積	法学部・教授	
共同研究者	北山 雅昭	教育学部・教授	
共同研究者			
共同研究者			
共同研究者			
研究経過報告			
<p>1. 農業構造改革特区調査研究</p> <p>新潟県東頸城郡浦川原村における株式会社による農地賃借権の設定事例について現地調査を行った。条件不利地域における耕作放棄地への地元建設会社による農業参入の実態把握、浦川原村の農地管理施策の実態調査を目的とした。</p> <p>2. この間の研究のまとめ</p> <p>地域における自然環境の管理保全主体に関する調査研究を踏まえて「地域中間団体による自然資源に維持管理」（牛山ほか『環境と法』2003年、成文堂）にまとめた。</p> <p>3. スイスにおける地域政策の展開過程の研究</p> <p>スイスにおける山岳地域の地域自然資源管理にとって、地域政策が果たしている役割を看過することはできない。今年度はなかでも、新地域政策をめぐる議論を追跡した。スイス山岳地域協会のトマス・エガー氏、並びに経済省農業局のトマス・マイアー氏を訪問し、聞き取り調査と資料収集を行った。</p> <p>4. スイス農民土地法の研究</p> <p>日本の農地法を支える耕作者主義に比肩可能なスイス農民土地法の自作者原則につき、調査研究を行った。スイス司法省の土地・登記局での聞き取り、ベルン行政裁判所のStalder 裁判官からの聞き取り、カントン・アールウでの農地取引許可実務に関する聞き取り調査を実施した。「スイス連邦農民法と自作者原則」（未公刊）にまとめた。</p> <p>5. オーストリアにおける山岳農業政策の新展開に関する研究</p> <p>オーストリアにおけるREADER+プログラムの実施に関し、ウィーンの連邦山岳農民問題研究所のゲルハルト・ホヴォルカ氏、ならびにトマス・ダックス氏を訪問し、聞き取り調査と資料収集を行った。</p> <p>6. 廃棄物処理</p> <p>テーマを廃棄物関係に絞り、日本における廃棄物関係の判決を収集整理した。廃棄物処理の状況、特に不法投棄問題の制度的背景等についても検討を加え、小島紀徳ほか編『ごみの百科事典』（丸善）の該当箇所に取り纏めた。また、企業と消費者をターゲットとする環境保全型経済の構築を課題とするEUの「統合的製品政策」について研究を進めた。研究の一部は、（社）日本電気協会発行「電気協会報」949号に発表した。</p>			